

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会 NEWS

第100号 記念号

平成29年11月10日発行
 事務局：県立青少年センター
 科学部 科学支援課
 TEL: 045-263-4470

協議会NEWS 通算100号!

会員の皆様におかれましては、日ごろより協議会の事業にご協力いただきまして感謝いたします。協議会の事業等を紹介しております「協議会 NEWS」もおかげさまで通算 100 号目の発行を迎えることが出来ました。今回はこれを節目に協議会の歴史と活動について簡単に振り返ってみます。

「協議会設立」を伝える協議会ニュース第1号(H18.3.31 発行)→



協議会の誕生

この協議会の発足は平成18(2006)年2月です。子ども達の理科離れ、科学技術離れが言われる中、県内の科学や教育に関係している施設や団体が集まり、理科好き・ものづくり好きな子ども達を支援し、科学体験活動の啓発や普及を図っていくことを狙いとして設立されました。当時の青少年センター館長と科学部長が、科学や理科教育等に係る様々な施設を1件1件訪問して趣旨を説明し、賛同をいただいた51会員で発足しました。

子ども科学探検隊の開始 協議会としての初めての事業が、現在も人気の高い「子ども科学探検隊」でした。1年目(平成18年)の探検隊は27名が登録し14施設を訪問しました(今年度は42名登録18施設を訪問)。第1回目の「子ども科学探検隊」の様子が、協議会ニュース第2号に次のように紹介されていました。『県内各地から小学校5年生から中学校2年生まで27名が参加し、開講式・科学実験教室を終えた午後「野毛山動物園」を訪れ、キリンの授乳とチンパンジーの食事を見学し、動物の麻酔に使う吹き矢作りを体験してきました。』

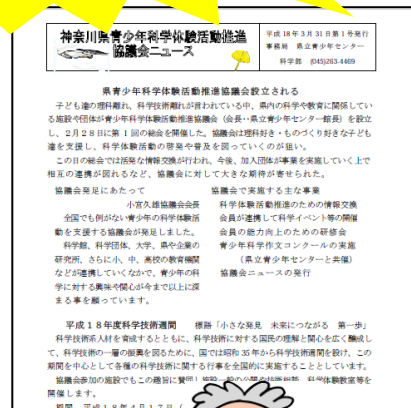


子ども科学探検隊の開始

協議会としての初めての事業が、

現在も人気の高い「子ども科学探検隊」でした。1年目(平成18年)の探検隊は27名が登録し14施設を訪問しました(今年度は42名登録18施設を訪問)。第1回目の「子ども科学探検隊」の様子が、協議会ニュース第2号に次のように紹介されていました。『県内各地から小学校5年生から中学校2年生まで27名が参加し、開講式・科学実験教室を終えた午後「野毛山動物園」を訪れ、キリンの授乳とチンパンジーの食事を見学し、動物の麻酔に使う吹き矢作りを体験してきました。』

「新事業開始」を伝える協議会ニュース第2号(H18.5.24 発行)→



知事も来館、科学の祭典

会員の皆様からも毎年多くの

ブース出展をいただき1000名前後の来館者のある「青少年のための科学の祭典」ですが、平成20年度には当時の松沢県知事も来館し、科学工作等を楽しんでもらいました。

←「知事来館」を伝える協議会ニュース第16号(H20.8.21 発行)



中高生の科学体験講座

高校生対象の「高校生科学体験講座」を平成20年度に新規開始しました。平成24年度からは「中高生サイエンスキャリアプログラム」として、中高生を対象として会員の皆様の施設等を訪問し、「子ども科学探検隊」よりも高度な内容の科学体験活動を行いながら、将来の進路を考えるキャリア教育の機会としています。



青少年のためのロボフェスタ

平成17(2005)年から青少年センターを会場に開始された「青少年のためのロボフェスタ」に、協議会は共催として参加してきました。会員の皆様からもブース出展等をしていただき、現在も継続している大きな事業です。平成25(2013)年には、さがみロボット産業特区や県立高校の宣伝も兼ね、県立神奈川総合産業高校で開催しました。この年は天候にも恵まれ、1日で約6,000名のご来客でした。

「ロボフェスタ2013」を伝える協議会ニュース第59号(H25.11.30発行)→

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会ニュース 第59号 平成25年11月30日発行
事務局：県立青少年センター科学部 科学支援課 電話045-263-4470

「ロボット大集合！夢未来の科学者たち！青少年のためのロボフェスタ2013」が、さがみロボット産業特区の広域を兼ね、特区内の県立神奈川総合産業高校で11月24日(日)に開催されました。天候にも恵まれ、子どもから大人まで約6,000名の方にご来場いただきました。子どもたちの好奇心に満ちた声や、高校生ロボットコンテストに参加した得意心あふれる生徒の姿に感動しました。ご来場ご参加ありがとうございました。
今回はこの「ロボフェスタ2013」の掲載号としてご紹介いたします。

青少年のためのロボフェスタ2013
子どもたちへの思いや期待を込めて、たくさんの企業や研究機関、大学、専門学校、高校にご参加いただき、過去最大規模での開催ができました。ご協力ありがとうございました。

出展団体・ロボット一覧 (順不同)

団体名	出展ロボット
1 JAXA 宇宙航空研究開発機構	宇宙探査ローバー「Micro7」 特産品
2 三菱電機株式会社	産業用アームロボット 高校生ロボティクスツアー
3 大和ハウス工業株式会社	セラピー用アサシ型ロボット「パロ」等
4 セコム株式会社	災害支援ロボット「マイスーン」
5 東京科学館	からくり人形
6 富士ソフト株式会社	コミュニケーションロボット「R6ロ」 ロボットあそびくじ「9-1だるま3」
7 ダブル技研株式会社	ロボットハンド「D-Hand」

子どもサイエンスフェスティバル 西湘地区大会
2月23日(土)24日(日)
小田原市生涯学習センター-けやき

今年度からの新事業(共催事業)「子どもサイエンスフェスティバル」を、今年度は小田原市の生涯学習センター-けやきを会場に3事業として取りました。小田原市の青少年育成イベントの「わくわく子どもサイエンスフェスティバル」の中で、大勢の入場者が子ども達に科学体験をすることができました。今回は西湘地区の協議会役員と協賛企業に協力をいただきました。参加していただきました会員の皆様ありがとうございました。

今年度は西湘地区で開催しますので、出展等のご案内いたしますので「青少年のための科学の祭典 神奈川地区」青少年のための科学の祭典「わくわく子どもサイエンスフェスティバル」を、今年度は小田原市の生涯学習センター-けやきを会場に3事業として取りました。小田原市の青少年育成イベントの「わくわく子どもサイエンスフェスティバル」の中で、大勢の入場者が子ども達に科学体験をすることができました。今回は西湘地区の協議会役員と協賛企業に協力をいただきました。参加していただきました会員の皆様ありがとうございました。

平成20年5月6日(火) 県立青少年センター
平成21年2月23日(土) 県立青少年センター
平成21年2月24日(日) 小田原市生涯学習センター
平成21年2月25日(日) 西湘地区大会 小田原市生涯学習センター-けやき
平成21年2月26日(日) 県立青少年センター

第41回青少年科学作文コンクール表彰式 2月24日(日)

子どもサイエンスフェスティバル

「子どもサイエンスフェスティバル」は平成20年2月にプレ事業として行い、平成21年度から新規事業(共催)として始まりました。現在は青少年センターで開催している「科学の祭典」の地域版を、県内4地区で順次開催しています。県立青少年センターと開催地区の教育委員会等が主催、協議会が共催で会員の皆様から出展していただき、実験や科学工作などの体験を通じて、気軽に科学に楽しむ場を提供しています。今年度は、逗子、相模原、海老名、秦野で開催します。

←「子どもサイエンスフェスティバル」を伝える協議会ニュース第14号(H20.3.5発行)

「協議会ニュース」メール配信

協議会の発足以来、その事業や青少年センターのイベントを中心に、年間で平均7号の「協議会ニュース」を発行し、会員の皆様にも郵送でお届けしておりました。全ての会員の皆様とのメール環境が整いましたので、平成23年度(第36号)から協議会ニュースのメール配信を開始しました。

事務局から

県立青少年センターは55年前の昭和37(1962)年に、青少年の科学への興味・関心を高めることを目的とし、プラネタリウムを始めとする最先端の体験型科学展示物を50以上もそろえ誕生しました。

その後、平成17(2005)年の耐震工事によりプラネタリウムや科学展示物は撤去されましたが、開館当時の理念を継続し、当協議会を発足させ、子ども達の科学体験活動を推進してまいりました。

このような、全県レベルで教育機関・研究機関・博物館・動物園・行政機関・民間NPOなどが集まった青少年の科学活動のための協議会は他の都道府県には存在せず、JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)も注目して

いる組織であり、神奈川県科学推進のための財産です。

当協議会の発足とともに始まった事業「子ども科学探検隊」がその2年目(平成19年)に、神奈川新聞で紹介されました。今でこそ珍しくない事業の一つですが、当時の注目度の高さがうかがえます。

さて、11月になり事務局(科学部)では次年度の事業を計画する時期となりました。会員の皆様(現在93会員)には引き続き多くの事業にご協力をいただきたくご連絡を申し上げます。子どもたちの成長・笑顔・科学の発展のために、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)



センター開館 55周年